吉富町

我が家の一冊 保存版

けるというというでは、パンフレットルサードマップ付



この防災パンフレットハザードマップ付(以下「防災パンフ」という) は、町民のみなさまに日頃から身近にある災害の特徴や危険性について知ってもらい、備えること、そして災害が起きた時の避難行動に役立てられ、被害を最小限に抑えていただくことを目的に作成させていただきました。

いざという時のために、日頃からご家族はもちろん、ご近所や自主 防災組織の方々と危険箇所や避難場所、避難経路などについて 話し合っておきましょう。

この防災パンフは、ご家族の方が見やすいところに保存しておいてください。

Section 4		はじめに	P1
	:2:	吉富町の地域防 災力を高めよう	P2
	i	警戒レベルを 用いた避難情報	P3
000 A 1000	⊕	防災情報の 伝達と入手	P4
ARST AND S	i	防災気象情報	P5
	***	洪水・浸水害 について	P7
	F	土砂災害 について	P8
San Charles	4	地震対策 について	P9 ? P10
		津波対策 について	P11
	<u>r</u>	高潮対策 について	P12
から は 新		我が家の 防災対策	P13 } P14
		非常持ち出し品 および備蓄品	P15
S. A. Jones	九	感染対策を踏まえた 避難のポイント	P16
No. of the last	衣	避難所一覧	P17
		Contract to the second	

はじめに

吉富町の皆様へ

世界のあちこちで今の私たちには予想だにしなかった災害が起こっています。

ダイヤモンド・プリンセス号のテレビで映し出された船内の様子は、人々の心を悩ませ、新型コロ ナウイルス感染症という目には見えない恐怖というものがあるということを改めて知ることにな りました。

また、記憶にも新しい熊本地震も、私たちの災害に対する意識を大きく変える出来事となり、未曽 有の九州北部豪雨や西日本豪雨と大雨による災害も発生し、令和2年度も、九州豪雨や観測史上 最大の台風10号の襲来と、たて続けに避難を要する災害にも見舞われました。

町民の皆様におかれましても、身近な場所で起こる多種多様な災害に、危機意識は一段と高まっ ているのではないでしょうか。

この度、本町における防災情報を集約したパンフレットを作成いたしました。

皆さまで内容のご確認をいただき、お住まいの地域の災害リスクをしっかりと認識をされ、ご家族 はもとより地域の方々との話し合い、日頃からの助け合いやキズナを大切にして、いざというとき



の命を守る避難行動に役立てていただければと強く 思います。これからも、今までに経験もしなかったであ ろう大規模な災害の発生や激甚化が懸念されます。 「備えあれば憂いなし」吉富町の防災力のさらなる強 化に向けて、町民の皆様と町職員、関係機関がしっか りと手を取り合い、防災に強い町づくりを一緒に頑 張ってまいりましょう!

> 令和3年3月 吉富町長 花畑

命を守る3つのポイント ~ 一人ひとりの命を大切に ~

地震や洪水、台風などの自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で 守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。 大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携すること により、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。 いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。

自らを助ける

自分自身や家族・ 財産を守るための 活動

支え合いの心を大切に

地域や近隣の人が 互いに協力し合う 活動

共に助ける





消防・警察・行政などが 実施する 救助·援助活動

公の助け



吉富町の地域防災力を高めよう

災害時には、吉富町や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・ 停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。 このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。日頃から自主 防災組織を中心に、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどし て、地域の防災力を高めましょう。

白主防災組織の役日と活動

「自分たちの命、自分たちの地域は自分たちで守る!!

平常時

- 避難経路の確認
- 危険箇所の把握
- 避難目標の確認
- 協力体制の確認
- 地域の情報収集



災害時

- 情報収集・伝達の協力
- 避難行動要支援者への支援
- 避難時の助け合い
- 避難誘導
- 給食・給水活動への協力
- 環境や衛生の保持への協力



吉富町では全ての自治会で自主防災組織が結成されています

各地域の実情に合わせて、防災資機材の整備、避難行動要支援体制の構築が進められており、それ ぞれの地域での自主防災活動が展開されています。

自分が住んでいる地区の自主防災組織を確認し、いざという時の備えや行動をシミュレーションし ておきましょう。

また、自主防災組織への研修や、防災講演会、町内全地 区を対象とした防災避難訓練などを実施しています。 今後も自主防災組織と連携して、災害への備えを進め ていきますので、町民のみなさま方のご協力をお願い いたします。

避難行動要支援者を支援しましょう

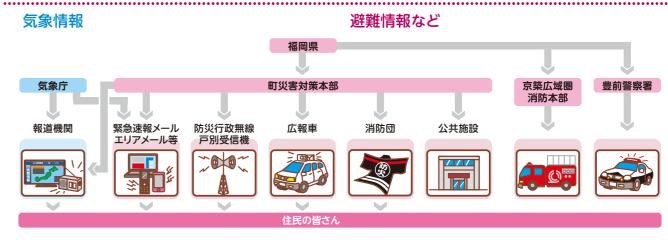
避難行動要支援者とは、年齢や障がい、言葉の違いなど、災害発生時の対応に何らかのハンデを 負っている人々の事です。地域で協力しあいながら、災害時の情報提供や安否確認、避難誘導な ど、必要に応じた支援をしましょう。

吉富町では避難行動要支援者支援制度実施要綱を制定し、町としての取り組みを開始し、登録に同 意を得た要支援者の名簿を作成しています。

また、災害時要支援者支援研修会を実施、各地区自主防災組織により要支援者の個別支援計画を 策定し、要支援者の支援をおこなっています。避難に関する支援が必要な方は、各地区の自主防災 組織にご相談ください。

災害時に適切な避難行動をとるためには、避難の必要性やタイミングを自分自身で判断する必 要があります。そのためには、正しい情報を早めに収集することが大切です。

防災情報の伝達



防災情報の入手

- メール配信サービス(防災メール・まもるくん)
- 大雨や台風、地震、津波などの気象情報や避難勧告などの防災情報をメールで知らせるサービスです。
- 防災気象情報や避難勧告などの配信 ② 災害時の安否情報通知 ③ 地域の安全に関する情報の配信 ④ 福岡県避難支援マップ
- メール登録無料! mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp 🗘 空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録してください。

- 防災メール まもるくん: 登録用サイト
- http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
- お問い合わせ 福岡県「防災企画課」 TEL: 092-643-3114 FAX: 092-643-3117
- 町防災行政無線の貸出し(無償)について
- 本町では戸別受信機を貸与し、次のお知らせをおこなっています。
- 災害に関すること ② 行政情報に関すること ③ 各自治会からのお知らせ ④ その他の緊急を要すること お問い合わせ 吉富町「未来まちづくり課」 TEL: 0979-24-1122 FAX: 0979-24-3219

吉富町の情報 ● 避難勧告などの発令情報 ● 避難所開設情報 ● 各種災害情報



■ 吉富町ホームページ https://www.town.yoshitomi.lg.jp/



■ 福岡県防災ホームページ https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php

土砂災害の情報 ● 土砂災害警戒情報

気象の情報 ● 気象情報・注意報

- 台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報
- 福岡管区気象台ホームページ https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/ 福岡管区気象台

■ 福岡県 土砂災害危険度情報 砂防総合情報ポータルサイト http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/index.html

福岡県 土砂災害危険度情報 🔍

川の防災情報

■ 国土交通省[川の防災情報]

https://www.river.go.jp/portal/#89

- 水位の情報 雨量情報 水位情報 ダム情報 洪水予報 水防警報 ライブカメラ



■ 山国川ライブカメラ http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/

町は、皆さんに生命の危険が及ぶと判断した場合、避難勧告などを発令し、避難を促します。 近年発生した豪雨災害を教訓とし、国は下記の通り「避難勧告等に関するガイドライン」を改訂し、水害・土砂災害に ついて、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階(※1)に整理しました。

	避難情報等	防災気象情報			
警戒レベル	避難行動等	自治体発令の避難情報	警報等	警報の危険度分布	指定河川洪水予報
警戒レベル 5 命を守るための 最善の行動をとる	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 を とりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生してい ることを把握した場合 に、可能な範囲で発令	(※2) 大雨特別警報		氾濫発生情報
警戒レベル 4	速やかに危険な場所から避難 先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険	避難勧告(※3) 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急 的又は重ねて避難を促す 場合等に発令	土砂災害 警戒情報	極めて危険	氾濫危険情報
全員避難	と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。			非常に危険	70 miles Alba
警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者等は 避難	避難に時間を要する人(障害のある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備• 高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	警戒 (警報級)	氾濫警戒情報
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。		大雨注意報 洪水注意報	注意(注意報級)	氾濫注意情報
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報 (警報級の可能性)		

- (※1) 各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
- (※2) 大雨特別警報は、洪水や十砂災害の発生情報ではありませんが、災害が既に発生している可能性が極めて高い情報とし て、警戒レベル5相当情報[洪水]や警戒レベル5相当情報[土砂災害]として運用されます。ただし、大雨特別警報が発 表されても、自治体より必ずしも避難発令等されるものではありません。

3

(※3) 「避難勧告」と「避難指示(緊急)」は2021年度より一本化される予 定です。最新の避難情報は町ホームページで確認してください。

警戒レベル5では既に災害が発生しています。 また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3や 警戒レベル4で、

地域の皆さんで声をかけあって、 安全・確実に避難しましょう。



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

テレビ・ラジオ テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送されています。

4

警戒レベルを

警報と注意報(大雨・洪水)

大雨注意報•洪水注意報

大雨・長雨などにより、河川が増 水し、災害(洪水、土砂災害や低 地の浸水など)が発生するおそれ があるとき。

大雨警報•洪水警報

それぞれ重大な災害が発生する おそれがあるとき。

大雨警報の発表中に、土砂災害

発生の危険度が高まったとき、福

岡県と福岡管区気象台が共同で

作成・発表する情報です。

警報の発表基準をはるかに超え る災害が予想され、危険性が著し く高まっているとき。

吉富町での注意報、警報が発表される雨量の基準は以下のとおりです。

1時間 40ミリ以上 になると予想される場合

1時間 60ミリ以上 になると予想される場合

数十年に一度しかないような 非常に危険な大雨

記録的短時間大雨情報について

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象 台から発表される情報です。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、 中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこ で災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」も合わせて確認してください。



雨の強さと降り方



やや強い雨 10~20mm未満

ザーザーと降る。



強い雨 20~30㎜未満 どしゃ降りの雨。



30~50㎜未満 バケツをひっくり返し たように降る。

5

激しい雨



50~80mm未満 滝のように雨が降る。



猛烈な雨 80㎜以上

息苦しくなるような 圧迫感があり、恐怖 を感じます。

風の強さと吹き方



やや強い風 10~15m/秒 未満

風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。



強い風 15~20m/秒 未満

風に向かって歩けなくな り、転倒する人も出る。



非常に強い風 20~35m/秒 未満

何かにつかまって いないと立ってい られない。



猛烈な風 35m/秒以上

屋外での行動は極めて危険。

特別警報について

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波などが予想され、重大な災害の起こるおそれ が著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

◆ 特別警報の発表基準

現象の種類	基準					
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される、若しくは、数十年に一度 台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合					
暴風		暴風が吹くと予想される場合				
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	高潮になると予想される場合				
波浪		高波になると予想される場合				
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合					
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合					

表中の"数十年に一度"の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

◆ 地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準		
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (<mark>緊急地震速報(震度6弱以上)</mark> を特別警報に位置づける)		
大山噴火 水山噴火 及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)			
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)		

警報の危険度分布について

警報などが発表された自治体のうち、実際に土砂災害や水害発生の危険度 が高まっている場所は、「危険度分布」を地図上の表記で確認できます。

注意

低



■ 大雨警報(土砂災害)の危険度分布(気象庁) https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html

大雨警報 土砂災害 気象庁



■ 大雨警報(浸水害)の危険度分布(気象庁) https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html

大雨警報 浸水害 気象庁



■ 洪水警報の危険度分布(気象庁)

https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html

洪水警報 気象庁





※ 洪水警報の危険度分布の「今後の情報等に 留意」は水色表示です。

今後の情報等に留意

危険度を5段階に色分けして表示

■ 極めて危険 重大な災害が既に 発生しているおそれ

■ 非常に危険 重大な災害が数時間以 内に発生するおそれ

洪水警報の 危険度分布

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

吉富町では、大雨や台風、地震が起きたときには、がけ崩れなどが発生する可能性があります。

自分や家族を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、

土砂災害には前兆現象がありますので、前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、役場

吉富町では、大雨による佐井川や山国川の河川はん濫や、町内の低い土地では水路からのはん濫が発生する可 能性があります。また、台風の時期など暴雨風による災害が発生するかもしれません。いざという時に備え、巻 末のポケットに入っている洪水ハザードマップでご自身がお住まいの地域の被害範囲を確認しておきましょう!

氾濫の種類

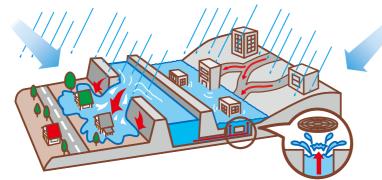
雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、 街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。



大雨の水が川 に集まり、川の

堤防を超える、あるいは堤防 を決壊させて川の水が外に あふれておきる洪水。

氾濫が起きると一気に水か さが増すため、最大の注意が 必要。

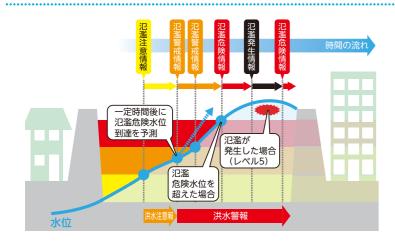


降った雨水 や、周りから

流れ込んできた水がはけき れず溜まって起きる洪水。的 確なタイミングで警報や避 難勧告を出すのが難しいた め、注意が必要。

河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報 が発表されます。自治体はこの情報を日安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	山国川	山国川	山国川	佐井川
観測所	小祝	金谷	下唐原	新大の瀬橋
氾濫危険水位 (レベル4)	_	_	6.60	1.96
避難判断水位 (レベル3)	-	_	6.00	1.73
氾濫注意水位 (レベル2)	4.40	5.40	5.00	1.60
水防団待機水位	4.00	4.70	4.40	1.22

● やむなく浸水の中を歩く際は

いるため、水

裸足、長靴は厳禁。水中では脱げづ

らい紐靴などが適している。また、氾

(単位:m)

避難行動のポイント、危険な場所

浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度 の深さで歩行

📕 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水

路、田畑の用水は見に行かない。やむ

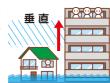
を得ない場合は複数人で行動する。



状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで 移動できない場合は、自宅や近隣

の頑丈な建 物のできるだ け高い階に



アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパス や地下道は、洪水の際、真っ先に浸水 する。場所を把握し、迂回路を想定して おく。



(TEL:0979-24-1122)へご連絡ください。

土砂災害の種類

※吉富町内で発生する

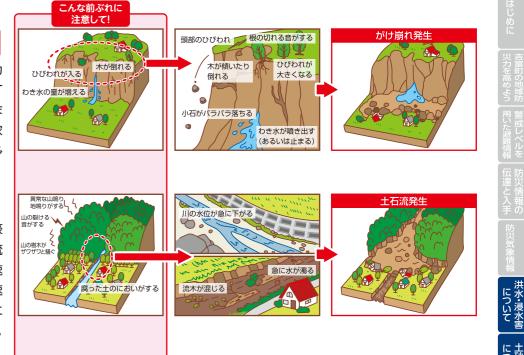
地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力 を弱め、雨や地震などの影響によって 急激に斜面が崩れ落ちることをいいま す。がけ崩れは突然起きるため、人家 の近くで起きると逃げ遅れる人も多 く、被害者の割合も高くなっています。

土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪 雨などによって一気に下流へと押し流 されることをいいます。その流れの速 さは規模によって異なりますが、時速 20~40kmという速度で一瞬のうちに 人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の 影響と重力によってゆっくりと斜面下 方に移動する現象のことをいいます。 一般的に移動土塊量が大きいため、甚 大な被害を及ぼします。また一旦動き 出すと、これを完全に停止させること は非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではあ りません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。

上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の 猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

木の騒ぐ音、裂ける音がする。

「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く

指定避難所までの移動が困難な際は、 近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する





外出にも危険が伴う状況で、 やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の 出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。

影響を与える主な地震

吉富町における想定被害 どこでも起こりうる

785	直下の地震			
地震の規模(M	地震の規模(M:マグニチュード)			
最大震度		6弱		
建物被害棟数	全壊(木造・非木造)	54		
火災被害	出火件数	1		
人的被害	死者数	3		
八叫饭古	負傷者数	219		



① 周防灘断層群地震(最大震度) 吉富町において震度は5弱~6弱の揺れが 発生することが予想されています。

② どこでも起こりうる直下の地震(最大被害) 福岡県による建物などの被害の想定結果です。 (左図参照)

緊急地震速報を見聞きしたら…

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く 知らせる情報のことです。テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話、施設の館内放送、受信端末などで入 手できます。

見聞きしてから数秒~数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとって下さ い。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

家庭では…

隠れる。

●あわてて外へ 飛び出さな



屋外では…

●頭を保護し、丈夫な机の下などに ●ブロック塀などの倒壊に注意する。

ガラスの落下 ルのそばから 離れる。



人がおおぜいいる施設では…

●係員の指示に従う。

●落ち着いて

口に走り出



自動車運転中は…

●あわててブレーキをかけない。

●ハザードランプ を点灯し、揺れを 感じたら路肩に 寄せてゆっくり 停止する。



山やがけ付近では…

9

●落石やがけ崩れに注意する。



エレベーターでは…

●全ての階のボタンを押して、 停止した階で、 すぐに降りる。



大地震が起きると、大きな被害が生じるおそれがあります。周囲の状況を判断して、まず身の 安全を確保し、避難所など安全な場所に避難しましょう。

地震発生時の時間経過別行動マニュアル



とにかく自分の身を守ろう!

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、 姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



しっかり火の始末で、火災防止!

台所やストーブなど火の始末をしましょう。 避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。



わが家の安全確認、確保!

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。 5~10分 また、避難可能な出口も確保しましょう。



10分~半日

■ 隣近所の安否確認、助け合い!

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して 行いましょう。



2、3日は自分でしのぐ!

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。 **半日~3**⊟ この間、日頃から、生活必需品(備蓄品)を準備し、 自分でしのげるようにしておきましょう。



震度階級表

地震マップ



障害を感じる。



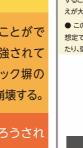


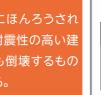
一部の人が行動に 震度 立っていることがで

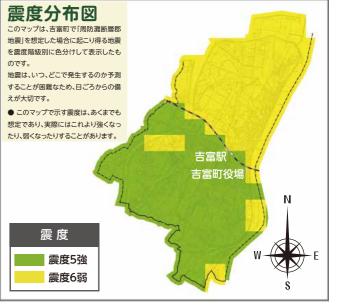




多くの人が行動に 震度 揺れにほんろうされ







吉富町は周防灘に面しています。地震などで津波が発生した場合は、地震による被害で堤防が 損壊し、機能しなくなる可能性があります。南海トラフの巨大地震による最大津波高4mが襲っ てきた場合の目安となる標高を、巻末のポケットに入っている津波・高潮ハザードマップに標高 マップを掲載していますので、ご自宅がどの程度の標高か確認しておきましょう。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		17.04/-=			
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の 表現	とるべき行動			
	10m超(10m<高さ)		沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難			
大津波警報	10m(5m<高さ≦10m)	巨大	巨大	してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離		
	5m(3m<高さ≦5m)		れないでください。			
津波警報	3m(1m<高さ≦3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難して下さい!			
津波注意報	1m(20cm≦高さ≦1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波 注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。			

※津波警報などの発表時には、各区分の高い方の値を、予想される津波の高さとして発表します。

津波からの避難

地震の揺れを感じたら!

- 強い地震だけではなく、 弱い地震であっても。 長時間の地震を感じたときも。
- 津波警報がでたら!

避難情報がでたら!

入手 テレビ・ラジオ・ ただちに

安全な場所へ 指定の避難所、津 波避難タワー、津 波避難ビルなどへ



津波の特性と避難行動のポイント

水辺からすぐに離れる

ても水辺は危険。 ただちに海岸や川



津波の速度は速い

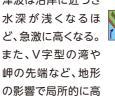
早く、目に見えてから 逃げるのでは間に合 わない。

ただちに避難!



こともある。

津波は何度も来る



くなる。

■ 津波は場所により高くなる

津波は沿岸に近づき

111

津波は遠方の地震等 によって発生するこ ともある。日本近海 の地震が伴わない津

波警報・注意報にも 注意する。

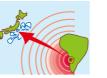
津波は遠くからも来る

避難したら戻らない

たり、第一波が引いた

注意報が解除され安

全が確認されるまで は避難を継続する。

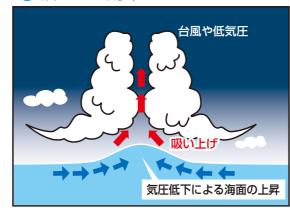


吉富町では、毎年台風が接近・上陸しています。高潮は台風などにより発生し、満潮と重なると広い 範囲で浸水するおそれがあります。台風が近づいてきた時は絶対海岸には近づかないでください。

高潮が発生する仕組み

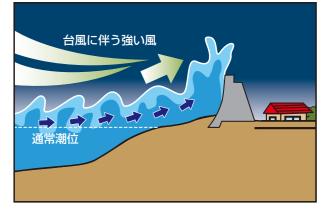
高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとそ の高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、背後地が浸水する可能性が高くなります。 また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害され ます。そのため、川沿いで氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。

○吸い上げ効果



台風や発達した低気圧の中心が接近すると、 中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げら れて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面 は1cm上昇します。例えば、950hPaの台風が 接近すると、1000hPaだった時より50cm海 面が上昇します。

・ 吹き寄せ効果



台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間 吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付 近の海面が異常に上昇します。吹き寄せ効果は風 速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の 奥ほど高くなります。

高潮って、どのような事に気をつけたらいいの??

高潮発生時は、安全な高台へ避難することが原則ですが、外 に出ない方が安全な場合もあります。大事なのは、その場所 の想定される浸水の深さなどを事前に調べ、どのような避難 行動をとるか決めておくことです。(あらかじめ避難先を決め ておくなど) 平屋建てやマンションの1階に住んでいる方は、 浸水の高さが2mを超えると避難は必須でしょう。生命に危険 が及ぶかどうかは、この高潮の高さによって大きく異なります。



高潮注意報・警報の基準となる潮位

- ●高潮注意報:潮位 4.1m ●高潮警報:潮位 5.1m
- ●高潮特別警報:数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮となると 予想される場合

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には できるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家 具が倒れるおそれがあり危 険。やむをえず置く場合は、な るべく背の低い家具にすると ともに、寝ている場所に倒れ ないよう、また出入口をふさが ないよう、向きや配置を工夫



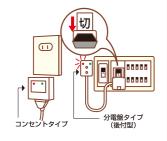
安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの 通路に、家具など倒れやす いものを置かない。また、玄 関にいろいろものを置く と、いざというときに、出入 口をふさいでしまうことも。



通電火災発生の防止

地震による火災の原因の多くは 電気が関連。電気ストーブや電気 コンロの転倒や、停電復旧時の 通電火災(破損した電気コードの ショートによる出火など)がある。 電気火災を防ぐためには、感震ブ レーカーの設置が有効。



手の届くところに防災品を備える

夜間就寝時、停電になると周囲の 確認ができず危険。地震の場合 はガラスが散乱したり、部屋に閉 じ込められることもある。普段寝 る場所から手の届くところに懐中 電灯やスリッパ、ホイッスルを。



家具の転倒、落下を防ぐポイント ● 事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二 段重ねの場合はつなぎ目を金具で しっかり連結しておく。



食器棚

L字金具などで固定し、 棚板には滑りにくい材 質のシートやふきんな どを敷く。重い食器は 下の方に置く。扉が開 かないように止め金具 をつける。



照明

チェーンと金具を 使って数箇所止め る。蛍光灯は蛍光管 の両端を耐熱テー プで止めておく。



所定の取り付け 場所(運搬用取っ 手など)を転倒防 **止ベルトで壁や** 柱に固定する。



13

テレビ台とテレビを直接固 定するのが有効。脚などに 専用の取り付け箇所がある 場合はボルト等で取り付け、 そうでないものは転倒防止 ベルトなどで固定する。



ピアノ

本体にナイロン テープなどを巻き つけ、取りつけた 金具などで固定 する。脚には、すべ り止めをつける。

家の周囲の安全対策 ●以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

雨どい・雨戸

ツキやゆるみはないか。

側溝が詰まると、道路冠

水や浸水の原因に。日頃

側溝

からの清掃を。

雨どいの詰まりはないか。雨戸にガタ

屋根

不安定な屋根のアンテナの補強。瓦 のひび、割れがないか。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりした基礎、控 え壁のないものは補強。

窓ガラス

外側から板でふさぐなどの 処置を。飛散防止フィルム を貼る。

ベランダ

鉢植えや物干し竿 などは室内へ。

非常口の確保

通路や出入口には、避難の際の妨 げにならないよう、できるだけ物は 置かない。

家の周りのもの

プロパンガスのボンベはしっかり固定 されているか。風に飛ばされそうなも のは事前に屋内へ。

土砂災害の予防策

● がけや斜面の近くでは特に次のようなことを心がけましょう。

斜面の状態の変化に 十分注意しましょう。

落ちそうな岩や土の かたまりは撤去する。

崩れそうな所は木や板の 柵、石積をする。

こわれた石垣などは 修理や補強を。



風でゆれる大きな木は 地面をゆさぶられない よう枝を切る。

外壁

板壁に腐りや浮きは

ないか。モルタルの

壁に亀裂はないか。

がけの危険な部分はビ ニールなどで覆い、雨 水の浸みこみを防ぐ。

雨水をがけに流さない ように水路を造る。

水路はゴミを掃除する。

住宅の浸水被害を防ぐには

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵 入口となるところを塞ぐことで水の侵入を減少させること ができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。

※実施の際には避難の妨げにならないように気を付けて ください。

「水のう」の作り方

- ●40L程度のゴミ袋を二重にして 半分程度の水を入れる
- ●空気を抜いて口をしばる





14



排水溝からの逆流対策に

長めの板状のものと組み 合わせて止水板に



土を入れたプランターを レジャーシートなどで包む のも有効

非常持ち出し品および備蓄品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。

災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。以下は一例で す。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

非常持ち出し品 ・とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

貴重品

- ・現金
- ・印鑑
- ・家や車の予備鍵
- ・証書類のコピー



情報収集用品

- 携帯ラジオ
- ・携帯電話(スマートフォン)の充電器
- ・モバイルバッテリー
- 筆記用具



非常飲食品など

- ·非常食
- · 飲料水
- 給水袋
- ・万能ナイフ



衛生用品

- ・救急セット
- ・タオル
- ・マスク
- ・トイレットペーパー ・ウェットティッシュ
- ・ビニール袋
- ・下着類
- ・消毒液
- ・体温計



安全用品

- 懐中電灯
- ヘルメット・防災ずきん
- ・スリッパ
- ・笛やブザー ※居場所を知らせるもの
- ・マッチ・ライター
- 毛布・保温シート
- 使い捨てカイロ



● 少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- ·飲料水 ※1人1日3 @
- ・食品 ※アルファー化米、長期保存食品など専用品の他、・災害用トイレセット 下記ローリングストックの活用を
- ・給水用ポリタンク・バケツ
- ・カセットコンロ・ガスボンベ
- ・使い捨ての食器類 ・食品用ラップ

- ・ランタン
- ・からだ拭きシート
- 水のいらないシャンプー
- ・ガムテープ
- ・ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品など、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

・・ローリングストックについて

普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、 使った分だけ新しく買い足していくことで、

常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことを

ローリングストックと言います。

日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょう。

一対象品目の例一

ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、 インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物 カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、 トイレットペーパー、食品用ラップ、ビニール袋、 乾電池、使い捨てカイロ



感染対策を踏まえた避難のポイント

災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

- 避難とは[難]を[避]けること。 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。 できるだけ自ら携行して下さい。
- 吉富町が指定する避難場所、避難所が変更・増設されてい る可能性があります。
- 災害時には吉富町ホームページなどで確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。 やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状 況などを十分確認して下さい。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。 安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

避難行動判定フロー

スタート!

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップ(※1)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつ けてみましょう。

(※1)ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した 地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそば などにお住まいの方は、吉富町からの避難情報を参考に必要 に応じて避難してください。





災害の危険があるので、原則として(※2)、自宅の外に避難が 必要です。

安全確保することも可能です。 ① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの

(※2)浸水の危険があっても、次のような場合は自宅に留まり

高い区域の外側である

② 浸水する深さよりも高いところにいる

③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの 備えが十分にある

(※2)土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンションなどの 上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保する ことも可能です。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?



警戒レベル3が出たら、安全 な親戚や知人宅に避難しま しょう(日頃から相談してお きましょう)

警戒レベル3が出たら、吉富 町が指定している指定緊急 避難場所(※3)に避難しま しょう

警戒レベル4が出たら、安全 な親戚や知人宅に避難しま しょう(日頃から相談してお きましょう)

En

警戒レベル4が出たら、吉富 町が指定している指定緊急 避難場所(※3)に避難しま しょう

(※3)吉富町からの避難所開設情報をご確認の F、避難してください。

避難所一覧

避難施設の種類

指定緊急避難場所

津波、洪水等、災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住 民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものです。

指定避難所

災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害に より自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。

(津波避難ビル)

津波・水害緊急避難場所 津波災害又は水害等が発生し、又は発生するおそれがあるときに、指定された施設を地域住民等の緊 急避難場所として使用できるよう協定を締結して、緊急的な避難先として位置付けるものです。

指定緊急避難場所•指定避難所一覧

	施設名	住所	電話番号 市外局番 0979	標高
1	吉富フォーユー会館	吉富町大字広津413番地1	23-5006	4.1m
2	吉富町住民福祉センター ひだまり ^{(※1)(※2)}	吉富町大字広津641番地1	24-1123 (役場福祉保険課)	4.9m
3	吉富町体育館 ^{(※1)(※2)}	吉富町大字広津413番地1	22-1944 (教育委員会)	4.1m
4	吉富町武道館(※1)(※2)	吉富町大字広津358番地5	22-1944 (教育委員会)	4.1m
5	吉富町子育て支援センター(※1)(※2)	吉富町大字広津641番地1	23-2178	4.9m
6	吉富あいあいセンター ^{(※1)(※2)}	吉富町大字広津342番地	23-9900	4.2m
7	吉富保育園(こどもの森)	吉富町大字今吉21番地1	22-6588	10.6m
8	吉富小学校	吉富町大字広津665番地1	23-2179	8.6m
9	吉富中学校(※2)	吉富町大字直江612番地	22-0813	6.5m
10	西光寺(※1)(※2)	吉富町大字幸子442番地1	24-1122 (役場未来まちづくり課)	7.0m
11	宝福寺 ^{(※1) (※2)}	吉富町大字小犬丸140番地	24-1122 (役場未来まちづくり課)	4.0m
12	八幡古表神社(※1)(※2)	吉富町大字小犬丸353番地1	24-1122 (役場未来まちづくり課)	4.0m

- (※1) 洪水が発生し、または発生するおそれがある場合には使用できない可能性があります。
- (※2) 高潮が発生し、または発生するおそれがある場合には使用できない可能性があります。

津波・水害緊急避難場所(津波避難ビル)

田辺三菱製薬工場㈱ A5棟

吉富町大字小祝955番地

23-8900

2階以上

※ 会社周辺(高浜、喜連島上、喜連島下、小犬丸下及び界木の自治会)の住民約100名収容可能

マップの活用方法

いざというときに備え、あなたの家から避難所までの経路を書き込んで、月につく 身近な場所に保管しておきましょう。

災害の危険が迫ったときは、この地図を参考に速やかに避難してください。

- ●この地図は吉富町における災害を想定して制作したハザードマップです。
- ●洪水マップには、大雨によって想定される土砂災害のおそれのある箇所を示 しています。
- ●この地図に表示している河川はん濫による浸水想定区域は、国や福岡県が実 施した浸水予測シミュレーションの結果を基に、想定されるはん濫区域を重 ね合わせたものであり、想定される最大規模での区域と水深を示しています。
- ●この地図に示した浸水想定区域や土砂災害のおそれのある箇所以外でも浸水 したり、土砂災害等が発生したりする場合がありますので注意してください。

防災ハザードマップとは?

ハザードマップとは、国や県が公表した災害の被害予測図で、災害種別ごとに作 成しています。実際の河川はん濫の範囲や深さ、土砂災害危険箇所の範囲につい ては、想定と異なる場合があります。地図に示した範囲以外でも想定を超える集中 豪雨などにより、浸水や土砂災害が発生することもありますので、十分注意してく ださい。

⇒ わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。 災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

家族の集合場所

集合場所	避難所•避難場所	連絡方法

家族の連絡先及び救急情報

氏 名	続柄	電話番号 (自宅・携帯)	電話番号 (会社•学校)	生年月日	血液型	救急情報 (持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

親族•知人

かかりつけ医療機関

氏 名	間柄	電話番号	医療機関名	電話番号

緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・救助の連絡 1

19 警察へ事件・事故の連絡

图 110

海上の事件・事故の連絡

118

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります 「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



※ 市外局番からダイヤルしてください

被災地の電話番号、携帯電話などの 電話番号 伝言を残す

伝言を聞く

を押す

をダイヤルする